

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190581003011	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中島 貴奈 / Nakajima Takana		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	中島 貴奈 / Nakajima Takana		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	中島 貴奈 / Nakajima Takana		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館3F第31講義室 / Room 31		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	takanan (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教育学部623研究室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日?金曜日の8:00?8:30		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	?知 知的活動への動機づけを高める。?A 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。?B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。?C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グル ープ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190581003012	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	永田 聖二 / Nagata Seiji		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	永田 聖二 / Nagata Seiji		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	永田 聖二 / Nagata Seiji		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館1F第13講義室 / Room13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	seiji nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	612		
担当教員TEL / Tel	819-2310		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜?W限		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	?知 知的活動への動機づけを高める。?A 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。?B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。?C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グル ープ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190581003013	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	池谷 和子 / Kazuko Ikeya		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第21講義室 / Room 21		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kazukeya_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	609研究室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日 4校時		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	?A 知的活動への動機づけを高める。?A 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。?B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。?C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	数学のテーマを一つ出します。 採用するかどうかは班員の判断に任せます。
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グル ープ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッ ション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッ ション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッ ション, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッ ション, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッ ション, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッ ション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190581003014	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	星野 由雅 / Hoshino Yoshimasa		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館3F第33講義室 / Room 33		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	教育学部1年次生		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	hoshino nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に変更して送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教育学部本館415号室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2332		
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜日以外の昼休み		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	<ul style="list-style-type: none"> <li>・科学的な思考を身につけることができる。</li> <li>・様々なメディアを用いて必要な情報を取捨選択して収集できるようになる。</li> <li>・文章読解・文章構成力を高められる。</li> <li>・適切な自己表現能力を身につけることができる。</li> <li>・日本語によるコミュニケーション能力を高められる。</li> <li>・他者と協働して課題に取り組むことができるようになる。</li> <li>・多様なものの見方・考え方を身につけることができる。</li> </ul>		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review	日頃から新聞を読み, 課題意識を養っておくこと。		
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		

アクセシビリティ/Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員（上記連絡先参照）または「アシスト広場」（障がい学生支援室）にご相談下さい。 。アシスト広場（障がい学生支援室）連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp
備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容 (実務経験のある教員による授業科目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出



学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190581003015	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	杉野本 勇気 / Yuki Sugimoto		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	杉野本 勇気 / Yuki Sugimoto		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	杉野本 勇気 / Yuki Sugimoto		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館1F第12講義室 / Room12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	sugimoto nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	314		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜4限		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学の学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	?A 知的活動への動機づけを高める。?A 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。?B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。?C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グル ープ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190581003016	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	熊崎 耕太		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	熊崎 耕太		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	熊崎 耕太		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟12 / RoomA-12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	k.kumazaki@nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教育学部棟313		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	?知 知的活動への動機づけを高める。?A 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。?B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。?C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グル ープ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190581003017	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	林 幹大		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	林 幹大		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	林 幹大		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第24講義室 / Room 24		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)	1,2,3,4		
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	mhayashi_nagasaki-u.ac.jp アンダーバー( )をアットマーク( )に変換してください。		
担当教員研究室 / Office	407研究室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2334		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木曜2校時		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	?A 知的活動への動機づけを高める。?A 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。?B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。?C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グル ープ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190581003018	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	兼原 啓二		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	兼原 啓二		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	兼原 啓二		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館3F第1 コンピュータ室 / Room PC1		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	k_kanehara_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	美術技術教室119		
担当教員TEL / Tel	095-819-2349		
担当教員オフィスアワー / Office hours	授業終了後		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	?A 知的活動への動機づけを高める。?A 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。?B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。?C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)	オリエンテーションで配布された「長大生のためのラーニングティップス」を毎回持参のこと。		

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グル ープ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出



学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190581003019	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	三上 次郎 / Mikami Jirou		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	三上 次郎 / Mikami Jirou		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	三上 次郎 / Mikami Jirou		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第25講義室 / Room 25		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	miakami nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	音楽棟3階		
担当教員TEL / Tel	095-819-2344		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火曜日2限		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学の学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	?A 知的活動への動機づけを高める。?A 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。?B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。?C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、もの見方、考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グル ープ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190581003020	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	久保田 もか / Kubota Moka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	久保田 もか / Kubota Moka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	久保田 もか / Kubota Moka		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館1F第13講義室 / Room13		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	kubota_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	107研究室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	水曜1限		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	?知 知的活動への動機づけを高める。?A 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。?B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。?C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グル ープ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190581003021	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	宮津 寿美香 / Sumika Miyatsu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	宮津 寿美香 / Sumika Miyatsu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	宮津 寿美香 / Sumika Miyatsu		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第22講義室 / Room 22		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Office			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	?A 知的活動への動機づけを高める。?A 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。?B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。?C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修・資料収集・十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	「教師主導型学習(高校)」から「主体的・能動的学習(大学)」へ		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N		
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course			

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190581003022	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	鈴木 保巳 / Suzuki Yasumi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	鈴木 保巳 / Suzuki Yasumi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	鈴木 保巳 / Suzuki Yasumi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第23講義室 / Room 23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	ys11 nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教育学部216		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	金曜日12:10~12:40		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学の学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	?A 知的活動への動機づけを高める。?A 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。?B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。?C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グル ープ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出



学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190581003023	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	呉屋 博 / Goya Hiroshi		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	呉屋 博 / Goya Hiroshi		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	呉屋 博 / Goya Hiroshi		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館2F第23講義室 / Room 23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Office			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	?A 知的活動への動機づけを高める。?A 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。?B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。?C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修・資料収集・十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students			
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N		
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course			

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190581003024	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	高橋 甲介 / Takahashi Kosuke		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	高橋 甲介 / Takahashi Kosuke		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	高橋 甲介 / Takahashi Kosuke		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館4F第43講義室 / Room 43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address			
担当教員研究室 / Office			
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours			
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	?A 知的活動への動機づけを高める。?A 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。?B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。?C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修・資料収集・十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			
学生へのメッセージ / Message for students	貴重な出会いの機会を生かし, 仲間と一緒に成長していきましょう。		
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N) / Instructor(s) with practical experience (Y / N)	N		
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づく教育内容(実務経験のある教員による授業科目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course			

授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の作成・レポートの作成(中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッション, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備(発表練習)と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190581003025	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	森野 美央 / Miwo Morino		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	森野 美央 / Miwo Morino		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	森野 美央 / Miwo Morino		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館1F第11講義室 / Room 11		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	morinomi nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教育学部226研究室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	研究室前のOH表にて確認ください(日によって異なります)		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	?A 知的活動への動機づけを高める。?A 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。?B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。?C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グル ープ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190581003026	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	畑中 大路 / Taiji Hatanaka		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	畑中 大路 / Taiji Hatanaka		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	畑中 大路 / Taiji Hatanaka		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館4F第42講義室 / Room 42		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス/E-mail address	taijihatanaka_nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室/Office			
担当教員TEL/Tel			
担当教員オフィスアワー/Office hours	火曜12時?13時 メールでアボを取ることをおすすめします。		
授業の概要及び位置づけ/Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標/Course goals	?A 知的活動への動機づけを高める。?A 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。?B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。?C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティ40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@ml.nagasaki-u.ac.jp		

備考 (URL) /Remarks (URL)	
学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グル ープ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出



学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190581003027	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	佐々野 好継 / Sasano Yoshitugu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	佐々野 好継 / Sasano Yoshitugu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	佐々野 好継 / Sasano Yoshitugu		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館1F第12講義室 / Room12		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	y-sasano nagasaki-u.ac.jp ( を@に変えて送信してください。 )		
担当教員研究室 / Office	教育学部511研究室		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日 3 限目		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め、科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力、レポートや口頭でのプレゼンテーション力、ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており、高校までの教師主導型学習から、大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また、大学での学習の入り口として、学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて、今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	?A 知的活動への動機づけを高める。?A 科学的な思考方法、課題発見能力、情報収集力、文章読解・文章構成力、学習・実験のデザイン力を育てる。?B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。?C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り、ものの見方、考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に、この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修、資料収集、十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点、プレゼンテーション 20点、レポート 60点(個人レポート10点、進捗状況・計画等の報告10点、文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ、必要があればその時、指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では、全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため、修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては、担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グル ープ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190581003028	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	中村 典生 / Norio Nakamura		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	中村 典生 / Norio Nakamura		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	中村 典生 / Norio Nakamura		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館4F第43講義室 / Room 43		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	nakn nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は @に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	515 (あるいは527)		
担当教員TEL / Tel	2882 (あるいは2338)		
担当教員オフィスアワー / Office hours	木3		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	?⑧ 知的活動への動機づけを高める。?A 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。?B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。?C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考(URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	Y
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	高等学校での2年間の実務経験を生かし、高大連携を意識した授業を实践し、初年次セミナーとして 最大限の成果を図る。
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グループ 間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッショ ン
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッショ ン, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッショ ン, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッショ ン, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッショ ン, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッショ ン, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	月 / Mon 5
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/29		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190581003029	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	平瀬 正賢 / Hirase Masatake		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	平瀬 正賢 / Hirase Masatake		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	平瀬 正賢 / Hirase Masatake		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	[教育]本館3F第32講義室 / Room 32		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	masa-i nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	教育学部本館5階510室		
担当教員TEL / Tel	095-819-2390		
担当教員オフィスアワー / Office hours	火 15:00?16:00		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	?A 知的活動への動機づけを高める。?A 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。?B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。?C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents to the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) / Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グル ープ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出

学期 / Semester	2019年度 / Academic Year 前期 / First Semester	曜日・校時 / Day・Period	火 / Tue 5
開講期間 / Course duration	2019/04/08 ~ 2019/07/30		
必修選択 / Required / Elective	必修, 選択, 自由 / required, elective, optional	単位数(一般/編入/留学) / Credits (General / Transfer / Overseas)	1.0, 2.0/1.0/1.0, 2.0
時間割コード / Time schedule code	20190581003030	科目番号 / Course code	05810030
科目ナンバリングコード / Numbering code	GEFY 15021_001		
授業科目名 / Course title	初年次セミナー(教育) / First-Year Seminar		
編集担当教員 / Instructor in charge of the course syllabus	西田 治 / Nishida Osamu		
授業担当教員名(科目責任者) / Instructor in charge of the course	西田 治 / Nishida Osamu		
授業担当教員名(オムニバス科目等) / Instructor(s)	西田 治 / Nishida Osamu		
科目分類 / Course Category	教養ゼミナール科目, 大学院科目[構造], 自由選択科目 / Elective Courses		
対象年次 / Intended year	1, 2, 3, 4	講義形態 / Course style	演習 / Seminar
教室 / Class room	教養教育A棟23 / RoomA-23		
対象学生(クラス等) / Intended year (class)			
担当教員Eメールアドレス / E-mail address	osamu-n nagasaki-u.ac.jp (メールを送信する際は を@に置き換えて送信してください)		
担当教員研究室 / Office	516		
担当教員TEL / Tel			
担当教員オフィスアワー / Office hours	月曜日12時?12時50分		
授業の概要及び位置づけ / Course overview	知的活動への動機づけを高め, 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力, レポートや口頭でのプレゼンテーション力, ディスカッションを通じて適切な自己表現能力を育てることを具体的なねらいとしており, 高校までの教師主導型学習から, 大学における主体的・能動的学習へのオリエンテーション機能を果たすことを目標とする。また, 大学での学習の入り口として, 学生と教員および学生相互のコミュニケーションづくりにも効果が期待される。これらを通じて, 今後の大学での学習活動を円滑に進める。		
授業到達目標 / Course goals	?知 知的活動への動機づけを高める。?A 科学的な思考方法, 課題発見能力, 情報収集力, 文章読解・文章構成力, 学習・実験のデザイン力を育てる。?B レポートと口頭によるプレゼンテーションとディスカッションを通じた適切な自己表現能力を育てる。?C 学生と教員及び学生相互のコミュニケーションを図り, ものの見方, 考え方の多様性を涵養する。		
知識・技能以外に, この授業を通して身につけて欲しい力(1つ以上3つまで) / Abilities other than knowledge and skills acquired mainly through the course (pick 1 to 3)	主体性 / Autonomy 汎用的能力 / Generic Competence 倫理観 / Ethics 多様性の理解 / Understanding Diversity 協働性 / Cooperativeness 考えをやり取りする力 / Ability to exchange ideas 国際・地域社会への関心 / Interest in international / local society		
学生の思考を活性化させるための授業手法 / Teaching method to stimulate students' thinking	A. 授業内容の理解度を確認したり自分で考えさせたりする活動   / Activities to check the degree of comprehension of the contents for the lesson or to think over B. 多角的に考えるために他者と関わる活動   / Activities involving others to think from various perspectives C. 技能修得のために実践する活動   / Activities to practice for acquiring skills D. 問題解決のために知識を総合的に活用する活動   / Activities that comprehensively utilize knowledge to solve problems E. 上記以外の学生の思考の活性化を促す授業手法   / Teaching methods to stimulate students' thinking other than the above F. 教員からの講義のみで構成される   / It consists only of lectures from teachers		
成績評価の方法・基準等 / Method of evaluation	自主的な学修, 資料収集, 十分な思考と理解に対する取り組み方・ディスカッションへの積極的参加20点, プレゼンテーション 20点, レポート 60点(個人レポート10点, 進捗状況・計画等の報告10点, 文章構成力・文章表現力・オリジナリティー40点)		
各回の授業内容・授業方法(学習指導方法) / Course contents of each lesson	詳細は授業計画詳細を参照		
事前・事後学習の内容 / Preparation & Review			
キーワード / Keywords	初年次教育, 課題探求・課題解決型学習, 自己表現・コミュニケーション能力, 主体的能動学習		
教科書・教材・参考書 / Materials	授業の進行に合わせ, 必要があればその時, 指示する。		
受講要件(履修条件) / Prerequisites	全体の5分の4以上の出席を必要とする。		
アクセシビリティ / Accessibility (for students with disabilities)	長崎大学では, 全ての学生が平等に教育を受ける機会を確保するため, 修学の妨げとなり得る社会的障壁の除去及び合理的配慮の提供に取り組んでいます。授業における合理的配慮等のサポートについては, 担当教員(上記連絡先参照)または「アシスト広場」(障がい学生支援室)にご相談下さい。 。アシスト広場(障がい学生支援室)連絡先 (TEL) 095-819-2006 (FAX) 095-819-2948 (E-MAIL) support@m1.nagasaki-u.ac.jp		
備考 (URL) / Remarks (URL)			

学生へのメッセージ/Message for students	
実務経験のある教員による授業科目であるか (Y/N)/Instructor(s) with practical experience (Y / N )	N
実務家教員名 / 実務経験内容 / 実務経験に基づ く教育内容 (実務経験のある教員による授業科 目のみ使用) /Name / Details of practical experience / Contents of course	
授業計画詳細 / Course Schedule	
回(日時) / Time(date and time)	授業内容 / Contents
第1回	自己紹介, 教養ゼミナールの趣旨説明, 教養ゼミナールの具体的進め方・計画の説明
第2回	各学生によるテーマの提示と説明, 質疑応答, 学生間の議論・討論によるテーマの絞り込み作業
第3回	図書館資料収集ガイダンスの受講
第4回	テーマの設定, グループ分け, グループ別による研究の打合せ・グループディスカッション, グル ープ間によるテーマ研究打合せ報告とディスカッション
第5回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン
第6回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成開始・レポートの作成開始
第7回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成
第8回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成
第9回	中間発表 質疑応答
第10回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の作成・レポートの作成 (中間発表による修正)
第11回	テーマ研究の進捗状況・経過報告, 計画案報告・グループディスカッション・全体のディスカッシ ョン, 発表資料の提出・レポート素案の提出
第12回	プレゼンテーション準備 (発表練習) と質疑応答, グループディスカッション
第13回	合同発表会によるプレゼンテーション, 質疑応答, レポート最終素案の提出
第14回	最終レポートの修正
第15回	最終レポートの提出